※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史探究」（実教出版）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）、「新課程　４ステージ演習ノート　日本史」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義形式の授業を中心としながら、単元ごとの小テストを実施し、知識の定着を図る。また、プロジェクターを使用して様々な資料や映像、画像を提示することで思考力を高める。また、大学入学共通テストの過去問を解くことで、日本史に対する思考力・判断力・表現力を養う。

2　学習の到達目標

日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に考察させ、戦争に至る経過、戦後の復興、世界の中での日本、についての認識を深めさせることによって、歴史的考察力を培い、国際社会に主体的に生きる公民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	十五年戦争から現代にいたる日本の基本的な事項を国際環境と関連付けて理解する。また、日本史の近現代に関する諸資料また、戦後日本を成長させた諸資料を収集して有用な情報を適切に選択して、まとめあげる。	十五年戦争からの世界情勢を深く考え、国内政治がどのようにそれに対応したのかを考える。また、大学入学共通テストの特に資料問題などを通して、歴史的な考察力を身につける	なぜ十五年戦争に突入したのかを当時の世界情勢を考え、国内の社会の状況に関心と興味を持って取り組んでいるか。また、戦後日本を成長させた諸資料を収集して有用な情報を適切に選択して、まとめあげる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近現代の地域・日本と世界	十五年戦争と日本	a:第二次世界大戦・アジア太平洋戦争について、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。また、事例の考察に必要な諸資料を収集している。 b:第二次世界大戦・アジア太平洋戦争について多面的多角的に考察している。 c: 歴史に関する関心を高め、意欲的に考察している。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
				定期考査	定期考査 問題集	ワークシート 振り返りシート
2学期		戦後日本の形成	a: 戦後復興と高度経済成長下の日本について、諸外国の動きと関連付けながら理解し、その知識を身につけている。また、事例の考察に必要な諸資料を収集している。 b: 民主改革、安保体制について多面的多角的に考察している。 c: 歴史に関する関心を高め、意欲的に考察している。	定期考査	定期考査 問題集	ワークシート 振り返りシート
		グローバル化のなかの現代日本		定期考査	定期考査 問題集	ワークシート 振り返りシート
3学期			a:安定成長下やグローバル化していく日本について、諸外国の動きと関連付けながら理解し、その知識を身につけている。また、事例の考察に必要な諸資料を収集している。 b:冷戦終結後の世界について多面的多角的に考察している。 c: 歴史に関する関心を高め、意欲的に考察している。	定期考査	定期考査 問題集	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度